

会 議 録

会議名	令和6年度第2回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年10月29日（火） 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	印西市文化ホール多目的室
出席委員	松山毅 会長、和地朝子 委員、武藤茂 委員、周郷真由美 委員、大澤成行 委員、植村直子 委員、穂戸田和宏 委員、金子貴子 委員、渡辺恵美 委員、篠原裕子 委員 計10名
欠席委員	葛生茉布美 委員、木内郁美 委員 計 2名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 田口光浩 [事務局] 【子育て支援課】 齊藤利裕、小川敏博、黒田学、清田和広、竹下和也 【株式会社ぎょうせい】 長澤洋、小林将之、中田有希 (関係課) 【保育課】 藤巻孝、木村一美、中島好洋、成田勝也、 【子ども家庭課】 坂本郁子、小野田昌代、小森谷幸一、酒井絵里子 【学務課】 加藤知巳、斉藤睦雄 【生涯学習課】 飯島正義、川手敏生 計21名
傍聴者	なし
会議次第 議 題	1 開会 2 議題 (1) 印西市こども計画の骨子（案）について【資料1関係】 3 報告 (1) 印西市こどもワークショップの開催結果について【資料2関係】 4 その他 5 閉会
配布資料	【会議次第】 【資料1関係】 印西市こども計画骨子（案）概要版 【資料1関係】 印西市こども計画骨子（案） 【資料2関係】 印西市こどもワークショップ

会議概要・審議経過

会議の公開と傍聴規定について
会議の録音並びに会議録の要約筆記及び署名について
会議の開催について 定足数に達していることを報告
会議資料の確認

1. 開会 2. 議題

(1) 印西市子ども計画骨子（案）について
○資料1、1-2に沿って事務局より説明

【議 長】 それでは議事を進めていきたいと思います。冊子の3ページ目、位置づけの図で一体的策定となっている部分は、子ども計画の中に含まれるのでしょうか。別のものができるのでしょうか。

【事務局】 含まれるものであります。

【議 長】 第7章が子ども・子育て支援事業計画にあたるが、前回の次世代育成支援の取組などはどこにあたることになるのでしょうか。

【事務局】 これまでのものがまとめてどこかに移行していくというより、全体の各所に溶け込んでいく予定でいます。

【議 長】 これまでの4章立てではなく、もっと多くのものが含まれる幅広いものになるということであるということです。今回は、理念や考え方が骨子として提示されたこととなります。その視点から、各委員ご意見はありますか。事前の調査や会議があり、前回の会議ではその報告もあったが、それらの反映などはどこに入ってくるのでしょうか。

【事務局】 施策の展開で、前段に「現状と課題」を入れる予定です。そこに調査からの課題抽出などを入れていく予定であります。調査結果そのものの概要は第2章に入れるか、資料編に入れるか検討しているところでございます。

【議 長】 現状と課題には調査結果などがあると思いますが、それがベースにあって取り組みの方向性があるという順番だと思うが、資料の「現状と課題」にそれが見当たらないので質問させていただきました。

【委 員】 切れ目なき支援は年齢等の時間によるものだけではなく、状況や支援側の切れ目もないようにすることが必要だと思います。不登校については、国も「COCOLOプラン」で支援ルームを校内に作る、フリースクールは主な担当は教育委員会で行政も支援していく、NPOのフリースクールも支援するなどを進めている。こどもの学びを支援するという教育・行政の連携が必要だと思います。

【事務局】 教育委員会とも協議し、どのように反映できるか検討していきたいと思います。

【委 員】 ひとり親の家庭などをみていくと、母親も自分のことで手一杯で子どもまで手がまわらない状況です。47ページ目には具体的に「ひとり親家庭」という文言もあるが、支援という言葉だけでなく、安

心して印西で暮らしていけるような取り組みが記載されるとよいと思います。

【事務局】ひとり親への支援は具体的に取る仕組みがあるのでそれを記載していく予定でいます。

【委員】最近、ヤングケアラーの問題が気になっています。頑張っている子どもが多いという実情や、子ども、家庭の苦労を見聞きすることがあり、気になっています。

【事務局】ヤングケアラーもしっかり支援していくということで、今年度は関係機関の研修を行いました。子どもに関係する機関の相談員にまず周知徹底を図ることから始める意図でした。今後、実態調査の検討を行うなど支援に結びつけたいと考えています。

【委員】27ページ目に、いろいろな遊び体験などあるが、両親がいてある程度収入があっても、例えばディズニーランドに行く、習い事に行くなど、ひとりっ子ではいろいろやっているようなことがなかなか体験させられていないということもあります。特に小さいときにいろいろな体験をすることで子どもの可能性が広がると思います。例えば子どもが体操教室に行くとなったら利用券を渡すなど、そのくらいは市でもできるのではないかな。中学になれば部活動はあるが、部活動にもないようないろいろな機会を子どもに渡していくことが印西市でできるとよいと思います。

【事務局】現状は、市としては習い事の支援はないが、学習支援を定期的で開催・実施しているところです。それ以外の習い事への助成などは今後の検討課題と感じています。

【議長】子どもの貧困問題は10年以上前からあります。経済的貧困だけでなく社会的経験の貧困というものも問題として浮上しています。親の収入等に関係なく子どもが体験を積めるようにするのは、市のインフラであるというくらいの観点で取り組めるとよいと思います。

【委員】今までの会議で、第2期計画の総括とか検証、それに対しての新規事業などの協議はあったのでしょうか。

【事務局】第2期計画の振り返りについては、毎年進行管理は行ってきました。今回のご意見にあたる振り返りは、骨子案の第2章で入れるか、後ろの各章で扱うかなど考えています。

【委員】第2期計画の取り組み結果がわからない中で新しい計画を作っていかなければいけないということになるのでしょうか。

【事務局】取り組み結果を振り返り、「現状と課題」に現状の振り返りを入れていくことを予定しています。

【議長】現行計画は令和6年度で終わり、次の計画にほかの計画も入ってくるということで、連続性がなければいけないと思います。過去を振り返り、それが見える形で案に入れて、素案を作っていってほしいと思います。

【委員】経済的に厳しいだけでなく、時間的に厳しい保護者も増えていると思います。家族そろっての食事などがなかなかできない、保護者への支援も必要だと思います。学童クラブや、学校敷地内での放課後子ども教室があります。学童クラブの待機児童対策で放課後子ども教室ができた経緯があるが、学童クラブでは

保護者の就労という条件がありますが、ニーズとしてはどちらも一緒であり、庁内の所管は異なるのだろうがそれがしっかり連携されて放課後児童の取り組みが進むとよいと思います。

【事務局】学童クラブとこども教室は、保育課、生涯学習課と所管が分かれています。まだ決定事項ではないが来年度は教育委員会で一括して扱う方向で進めています。

【議 長】その方向で進み、一体的な取り組みが進むとよいと思います。

【委 員】学童クラブがやはり足りないと感じています。短時間働いている親が、夏休みなど預かってもらえないという事象に対応してもらえるとありがたいと思います。

【事務局】夏休みについてはそのような意見を把握しています。事業者募集をかけて対応可能なところから対応しているが、ニーズの全てをまかなえてはいない状況です。少しずつ対応を進めていきたいと考えております。

【議 長】マンパワー、人材確保も含めて必要なところだろうと思います。

【事務局】放課後こども教室は、場所は学校の余裕教室の活用、地域の方々の協力で居場所づくり、遊びや体験、交流の場をつくるというのが本来の形であります。学童クラブとはイコールのものではないと考えています。学童クラブは校内に場所を作っているが、放課後こども教室は地域の方々のご協力をもって、ある程度対応も広げられるとは思っています。放課後のこども対策を、学校の先生の協力もいただきながら進めたいと考えております。

【議 長】印西市もこどもが増えていると思います。学校によっても状況は違うだろうが、こども計画になるメリットの一つはこども目線ということです。就労保護者の都合等でなく、放課後にこどもが安全に過ごし、遊べる、こどもの権利というところから施策などを考えていくことが、印西らしい新しい計画になっていくのでよいと思います。

【委 員】放課後こども教室はボランティアの人がやるとのことだが、校庭開放などは考えていないのでしょうか。

【事務局】放課後こども教室では、校庭を使って遊ぶことはやっています。昔遊び、工作など、その一環で外遊びも行っています。習い事をやっているような先生の協力をいただくなど、学校教育以外の体験ができるカリキュラムも月1回くらいで実施しています。実施負担は無しとしています。

【委 員】ボランティアが頼りで、そこにボランティアがいればできるといった受け身の施策のように思えるところがあります。

【事務局】他自治体で民間委託というところもありますが、印西市では3つの小学校で実施、原山小学校は平日毎日、他の2校は体育館でボッチャといった体験をボランティアにより行っています。

【委 員】その活動内容はどのようなプロセスで決定しているのでしょうか。

【事務局】教育委員会で決めていくが、実際は、地域ボランティアのご協力が前提という形で決まっています。

【委員】市民みんなに告知すると、やってあげたい、やってみたいと思う市民も増えるのではないかと思います。

【事務局】共働きの増加等で、放課後のこどもの居場所は行政の担う必要なものになっているので進めていきたいと思います。

【委員】次の議題のことではあるが、こどもワークショップの資料で、ほっとできる場所が、自宅、次に学校、教室、放課後といった声が多いように思いました。そこには第2期の取り組みの成果もあるだろうと思います。こどもの視点ということで、こどもが過ごす放課後こども教室に対して、市民にも地域に貢献したい人はいるはずで、もっと広める、支援できる住民との協働がもっとできると、市民も楽しくできるのではないかと思います。市民への呼びかけがあるとよいと思います。

【事務局】市民のご協力という面では、こども食堂、駄菓子屋さんとか、市民活動が活発な印西市であります。URとの連携で、団地の集会所をこどもの居場所にするといった試みもあります。こどもの居場所は学童クラブや放課後こども教室だけでなく、図書館、公民館、お店など、学校帰りにこどもがいる場所が昔はいろいろあったが、今は防犯の観点などからそういう場所が減ってしまっています。市民活動の広まりとも合わせて居場所づくりができればと思います。

【委員】今の防犯問題、昔は校庭でこどもだけで遊んでいたが、今は、ニュースなどでもよく聞くが、学校の先生が休み時間でも見えています。大人がいなければ遊べないということもあると思う。前回の会議でも話題があったと思うが、そこに協力したい時、どこに問い合わせればよいのか情報入手のための周知が必要だと思います。私たち自身もわからない状況なのでもっと周知してほしいです。市民の、ボランティアをやりたい希望に沿えるように、もっと積極的にお知らせを、媒体など活用して気軽に問い合わせできるとよいと思います。

【議長】社会福祉協議会のボランティアセンターなどもあるが、印西市全体で子育て応援隊のようなものができて、英会話でもサッカーでも市民が各々の得意分野を持ち寄って市全体でこどもを支援できていく仕組み、雰囲気がこの5年の計画の中で進むとよいと思います。その仕掛けができるといいと思います。埋もれている場所、人材を活かせる工夫、そういった仕掛けを行政が発信していくのも新しい形としてよいように思います。

【委員】地区の社会福祉協議会でこども食堂の手伝いに行っています。こども食堂はシニアの料理の得意な人が料理や弁当を作り、夏休みには社協のセンターから派遣された高校生が支援に来たりして、こどもはこどもですごく楽しんでいます。その地区の社協独特のものかと思うが、お手伝いしたい市民の力をよく活かしていると思います。やりたい人の問い合わせ先などはっきりするとよいと思います。

【事務局】こども食堂は地域の人力で、こどもを真ん中にして、食を通じた、子育ての一端を担う取り組みであり素晴らしいものと思います。そういった観点からも研究していきたいと考えています。

【議 長】病弱だったり、障害のあるお子さんなども含めての支援となっていくのが大事です。こどもの権利では、社会参加、意見表明も大事であり、こども視点とはこどもが主役の視点であり、そういったことを意識して作れるとよいと思います。ライフステージごとの課題もあるだろうから、各ライフステージごとの課題、現在の施策、これからどうするといったところが、今後素案で入っていくとよいと思います。

【議 長】他に何かあれば事務局へお願いします。意見を踏まえ調整できるところは調整し進めてほしいです。ここで議題1は終了とします。

続いて、報告（1）印西市こどもワークショップの開催結果について報告をお願いします。

（1）印西市こどもワークショップの開催結果について

○資料2に沿って、事務局より説明。

【議 長】当日はこの後キャンパスツアーがあり、食堂も利用できました。参加者みんなが参加され、食べて、楽しんでお帰りになったようであります。ご意見など何かありますでしょうか。

<特になし>

【議 長】ぜひ毎年、今回のような形に限らず、学校にお邪魔するなどの方法や年齢層の広がり、フィードバックの工夫等をしながら継続していってもらいたいと思います。

4. その他

【議 長】その他として事務局ありますでしょうか。

【事務局】特になし

5. 閉会

【議 長】 それでは以上で、議事議題、報告は終了になります。以上をもって、第2回子ども・子育て会議を閉会します。

○事務局より連絡事項等

- ・第3回会議は12月17日午後の予定
- ・委員報酬について
- ・会議録の署名委員について

令和6年度第2回印西市子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和 年 月 日

子ども・子育て会議委員

子ども・子育て会議委員